

浜岡原子力発電所の安全性向上に向けた 取り組みのお知らせ 第117報

浜岡原子力総合事務所 2 0 2 2 年 6 月 発 行

1訓練

重機訓練用敷地での訓練

津波が発電所敷地に浸水した場合などには、重機を使って土砂やがれきの撤去をします。

その重機の操作訓練を行う敷地の拡大工事が4月末に完了し、**より充実した訓練**を実施することができる ようになりました。



完成した敷地

土地が広くなったことで、複数の重機 が同時に訓練を行うことができるよう になりました。

訓練の様子

特殊免許を持った社員が、重機操作の腕を磨きます。



ショベルで穴を掘る



掘った穴にブルドーザ で土を戻す



経験豊富な社員から 適宜アドバイスをもらう

Check

この敷地造成工事のために採掘した土砂は、御前崎市内の幼稚園に提供し、園庭や砂場に活用していた だきました。





土砂を補充した園庭や砂場



園児のみなさんも 一緒に整備を手伝って くれました。

②静岡県および御前崎市による津波対策工事ほか追加工事の点検および確認

当社が実施している安全性向上対策工事が計画どおり行われていることを、月1回程度の頻度で点検 および確認いただいております。

第109回(3月28日)



浸水防止ダンパの点検

第110回(4月26日)



原子炉格納容器下部注水系配管の点検

<静岡県および御前崎市からの講評>

- ・中部電力の計画どおりに実施されていることを確認した。
- ・今後も重要な設備の工事が続くと思うが、しっかりと工事を実施していただくようお願いしたい。



☆コラム☆

出典:女川原子力発電所 見学BOOK

東日本大震災と原子力発電所 ~東北電力 女川原子力発電所編①~

東日本大震災で震源地に一番近かった女川原子力発電所は、大きな地震と津波に襲われましたが、震災前か

らの備えで大きな事故を防ぐことができました。

女川原子力発電所は昔から大津波の襲来を受けて来た地域であることを踏まえ、敷地の高さを14.8mにしたこと、敷地を掘り下げて海水ポンプを設置したこと、さらに6,600カ所の耐震工事を行ったことなど、震災前からの備えで発電所は設計通り安全に停止することができました。

東日本大震災の 津波の高さ約13 m 通常の海面 取水路 引き渡の時にも海水を確保するための傾斜

※1 東日本大震災による牡鹿半島全体の地盤沈下(約1m)を考慮